

令和6年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」

●R6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
023841-鶴田町	③学校と家庭の課題	放課後等における多様な体験活動	・教育課程の実施に当たり、地域の人的・物的資源を活用したり、放課後や土曜日等を活用した社会教育との連携を図り、学校教育を学校内に閉じずに、その目指すところを社会と共有・連携しながら実現させる。	・総合的な学習の時間の計画・運営・授業の補助のため、推進員が中心となり地域の人材を講師やボランティアに迎え実施している。 ・また、放課後や土曜日等において、児童保育施設や社会教育施設を利用して子供たちの安全・安心な活動場所を確保し、地域と学校が連携・協働して学習や体験活動を継続的に提供している。	・推進員を1名追加し、3名体制とする。うち1名は統括的な役割を与え全体を見渡すことで管内にある小学校（1校）、中学校（1校）での活動が強化される。	・学校や放課後子供教室が抱える諸課題解決や行事等に対し、役割分担の明確化が進み、教員の働き方改革に寄与し、よりよい学校教育となることを目指すとともに、これからの社会を創り出していく子供たちが社会や世界に向き合い関わり合い、自らの人生を切り拓いていくために求められる資質・能力とは何かを教育課程において明確化し育んでいく。	地域学校協働活動に関わる地域住民（ボランティア）の年間延べ人数	120	人	200		